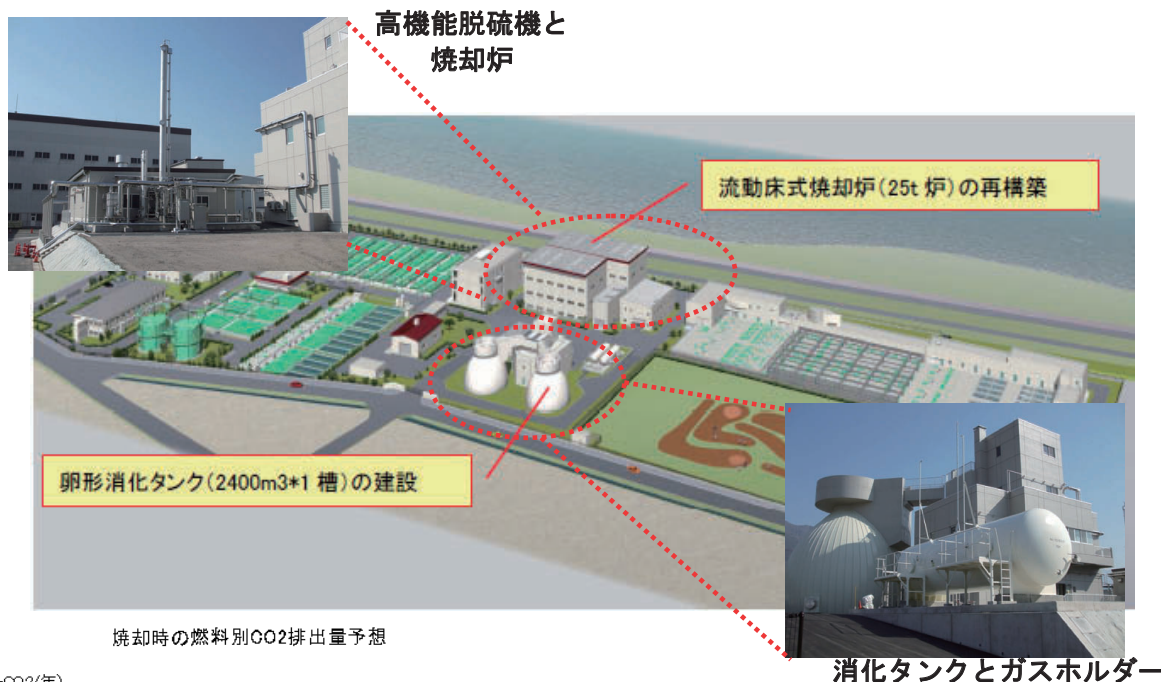


サステイナブル活動部門

温室効果ガス削減目標を掲げた老朽化施設の再構築

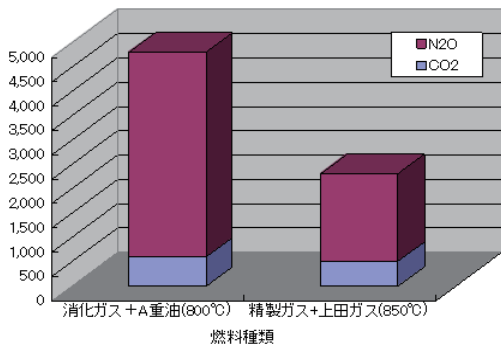
長野県上田市、日本下水道事業団

全体計画予想図

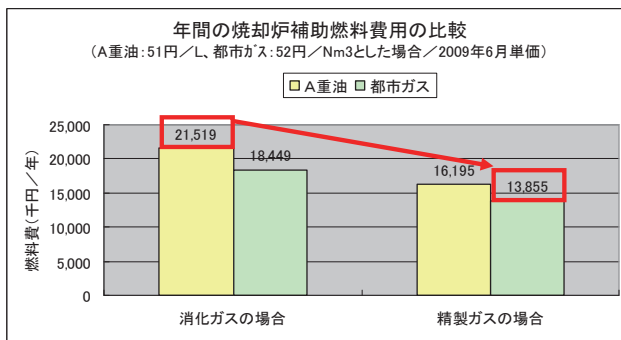


焼却時の燃料別CO2排出量予想

排出量(t-CO2/年)



高温焼却及び使用燃料の変更により、温室効果ガスの排出量の半減（年間約 2,500t-CO2削減）が見込まれる



使用燃料の変更により、約 35%の燃料費の節減（年間約 7,600 千円の節減）が見込まれる

上田市では、持続可能な下水道事業のために、温室効果ガス排出量原単位削減、下水汚泥エネルギー利用に係る目標を掲げて事業を実施しています。汚泥処理施設の改築事業においても、当該目標に鑑み事業を進めており、日本下水道事業団も複数の手法を組み合わせた省エネや地球温暖化ガス排出削減に効果的な再構築計画を提案し、事業の支援を行ってきました。その結果、約 35%の燃料費の節減、温室効果ガス排出量の半減、天然ガス車への利用（計画中）などの消化ガス有効活用を可能とする計画が策定され、事業が進められています。

上田市では、今後も地球温暖化対策や省エネに係る目標に鑑み、持続可能な下水道事業を進めていきます。また、日本下水道事業団も地方公共団体の先進的な取組を支援していきます。